

Noto PLUS

「行政」「人」「地域の魅力・価値」を「プラス」でつなぐ情報誌

広報のとNo. 85
2012.3.1



広報のと

第85号

平成24年3月1日発行

3

人も犬も
大切な命を事故から守る――。
能登町は「反射材着用の町」。



【写真】能登警察署の反射タスキ着用モデル犬ウエンディ（7歳・メス）と飼い主の大柳公男さん（宇出津）。交通事故に遭わないよう、散歩に出かける時は必ず反射タスキを着用しています。

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字197番地1

☎0768-162-10000(内)
能登町URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp



第3回 『里山里海の地元学』



ぶらり
ゆらり
里山
里海

『生存風景』という美観

村

の人たちは決して美しい村をつくつてきたわけではなくて、ここに生きるため、ここで生きるために、田を下に配置し、家と畑を山側においた。そのことが水による一定の秩序を村の風景に持たせたのである。あえて言えば生存風景である。それが結果として美しいのである」（地元学の吉本拓郎氏）

里山里海は人と自然が折り合った生産風景です。まるで湖が出現したかのような鏡の水田。湧き上がるカエルの合唱にホタルが飛び交い、やがて虫の音に変わるころ、黄金色に染まった大地が風でうねります。身近な森から職人が作り出した道具は、古くなるチカラを授かって使い込むほどにその真価を発揮し、背後の山から三世代かけて作られた家が家族を見守り、やがて朽ちて土に還ります。

里山里海は食卓にのぼる料理の素材がそのまんま風景となった春夏秋冬の恵みの姿です。稲穂と畦の大豆の風景はご飯と味噌汁の朝ごはん。旬の野菜・山菜・キノコ・ゆらめく海藻と夕涼みがてらに釣った魚が今晚のおかずです。食後の柿やアケビ、おやつのお栗や胡桃、米の酒にはムカゴや干物がつまみです。蔵の中では発酵食が熟成して冬を迎えます。

里山里海は同じように見えて全部違う固有の存在で組み上がったモザイクです。私のお気に入り、その人しか知らないあたり、在所が共有する知恵。ひとつひとつの微妙な違いを大切にすれば、「当たり前」と思っていたものが「地域の宝」になります。

里山里海には先人から子孫へのメッセージが込められています。柿の太木にしがみついた子供がよだれを垂らして見上げる時、きつとあの世で誰かがにっこり笑っているでしょう。

写真・文 山崎昭宏

【PROFILE】Yamazaki Akihiro

昭和42年埼玉県生まれ。平成21年能登町笹川に移住。平成4年に初めて富来を訪れる。彼女（妻）の実家でいきなり家族的な親戚づきあいの洗礼を受け、たちまち能登に魅了された。"帰省"の度に能登を巡り、富来の親戚よりも能登に詳しいと評された。ブログ：ゆらりぶらり <http://blog.livedoor.jp/yurairiburari/>



「広報のと」3月号の印刷費は一部当たり24円です。

珠洲警察署統合 能登警察署

4月1日から能登警察署は珠洲警察署能登庁舎に

平成21年6月、石川県警察本部は厳しさを増す治安情勢に的確に対応するため「警察署機能強化計画」を策定した。計画で示された「小規模警察署の統合」により、能登町を管轄する能登警察署は、平成24年4月1日から珠洲警察署と統合することが決まった。

統合によって警察体制がどう変わり、町の治安はどのようなのか。統合を控えた能登警察署取材した。



警察署統合。その目的は

01

昭和29年に現行の警察法が施行されてから、15警察署体制で推移してきた石川県警察。58年ぶりの警察署再編の目的を新澤克之次長に聞いた。



新澤克之さん

Shinzawa Katsuyuki

警部 | 能登警察署次長兼警務課長

半世紀ぶりに見直された警察体制

市町村合併や道路交通網の発達、携帯電話やインターネットの普及など社会情勢の変化とそれに伴う犯罪の悪質・巧妙化、広域・スピード化、国際化などが進み、治安情勢は大きく変化しています。

限られた警察力を最大限活用し、将来にわたって治安情勢に対応できる警察組織とするため、警察署の在り方を中心に検討が進められてきました。

検討を進める中で、能登警察署のような規模の小さい警察署が抱える課題が浮き彫りになりました。つまり、体制が小さい現状では昨今の複雑化する犯罪に対して迅速・的確に対応することが難しい状況にあり、警察署の規模を大きくすることで警察署機能を強化することになりました。

機能強化によって警察の機動力が向上

4月から能登警察署は珠洲警察署と統合します。珠洲署と能登署は事件・事故の件数に大きな差はありませんが、事件の捜査で関連が深い裁判所や検察庁に近いことなどが考慮され本署は珠洲警察署に決まりました。

統合の目的は合理化ではなく「機能強化」です。規模が大きくなることで、駐在所員の不在解消や夜間・休日の体制強化、さらにパトロール要員なども増強されるため、事件事故に対する警察の機動力は、これまで以上に向上すると考えています。

「能登警察署」という名前はなくりますが、建物は「能登庁舎」として残ります。今後も地域の治安を守る拠点として、窓口業務などのサービスを含めて住民の皆さんが不便を感じないよう十分に配慮します。

警察署が無くなることで、不安やさみしさを感じている人もいるかと思いますが、不便はほとんどなく、警察機能の強化で治安は維持されますので安心していただきたいと思います。

小規模警察署の問題点

①夜間、休日の当直体制が不十分

→事件・事故などで待機署員を非常招集することとなり、迅速な対応ができない場合がある。

②大規模な事件・事故発生時の初動体制が不十分

→現場対応、事件指揮、署員招集、警察本部との連絡調整、報道対応など、さまざまな業務に同時に対応できない場合がある。

③本署の応援で交番・駐在所員が不在

→本署要員が多数必要な業務や欠員となった場合に交番・駐在所員を転用。その間、駐在所員などが地域に不在となる。

※石川県警察 警察署機能強化計画より抜粋

合理化ではなく「機能強化」。
夜間・休日の対応や
パトロールが強化され
警察の機動力は向上する。



能登町少年補導員
連絡会 会長
池岸雅弘さん
(宇出津)

「取り締まる」のではなく、「ふれあい活動」など子どもたちと同じ目線で付き合うことで犯罪や被害を未然に防ごうと活動しています。警察署へ気軽に相談できるような、地域と警察の距離を縮める役割も、これまで以上に重要になると考えています。

主な活動は毎月1日と15日の交通監視や交通安全週間の赤ランブ作戦、イベントの交通整理など。警察も交通推進隊も「死亡事故ゼロ」という同じ目標を持って常に協力しながら活動しています。統合後も警察との合同訓練などを続けてほしいと思います。



能登町交通推進隊 隊長
石田正栄さん
(鶴川)



能登町沿岸警備協力会
会長
櫻井隆志さん
(宇出津)

「二度とこの町から拉致事件を起こしたくない」という思いで、会員50人が月に1回、沿岸パトロールをしています。統合についてはさみしい思いもありますが、今後も警察と連携・協力して活動を続けていくので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。



【写真上】昨年5月、能登警察署と能登町交通安全協会がクラブ活動で帰りが遅くなる能登高校ソフトテニス部に反射タスキを寄贈。

【写真下】反射タスキ着用モデル犬ウエンディと飼い主の大柳公男さん。毎日の散歩で反射タスキ着用を呼びかけている。

【写真左】平成10年、柳田地区の防犯委員らによって結成された「や防一座（やぼういちざ）」。振り込め詐欺の手口などを分かりやすく披露する。駐在所員やほ～す君も出演。



年一年間は目標であった交通事故ゼロを達成した。防犯では「ほ～す君」が大活躍。22年6月に四コマ漫画から生まれたキャラクターは現在、金融機関窓口からスーパーマーケットまで、あらゆる場所で防犯を呼びかけている。

交通推進隊や沿岸警備協力会などボランティア団体の活動が活発なことも能登警察署の特徴。警察も団体代表らも「統合でこれまでの活動が無くなっている意味がない」と口をそろえる。警察署統合後も、行政、住民、警察が協力して能登町の治安維持に取り組んでいくことは変わらない。



変遷を重ねた能登警察署

明治6年に設置された宇出津屯所は、現在の能都地区、柳田地区のほか、穴水町の一部と輪島市の一部を含む6つの駐在所を管轄していた。

以後、町村合併や警察機構の改正などで何度も管轄を変更しながら、昭和30年以降は旧能都町と旧柳田村を管轄する「能都警察署」として約50年間、地域の治安を守ってきた。

平成17年3月、能登町誕生に伴って旧内浦町を管轄に含めた「能登警察署」に改称。『和同団結、相互援助、積極創造』を署訓に行政、地域住民、警察が一体となって治安維持に取り組んできた。

近年は小規模警察署の機動力を生かし、地域に密着した能登警察署独自の取り組みにも力を

入れてきた。その代表例が「反射材着用」とマスコットキャラクター「ほ～す君」だ。

オンリーワンの独自活動

平成20年4月から、能登町交通安全協会と能登警察署がタイアップして「ピカピカ作戦」を展開。高齢者の交通事故防止を目的に反射材の貼り付けや反射タスキの配布を始めた。

22年9月には、持木一茂町長が「反射材着用の町」を議会で宣言。反射タスキ着用者への特典付与など商店連盟の後押しもあり、町内歩行者の着用率は大幅にアップしている。石川県内では断トツの着用率を誇り、昨



昭和30年ごろの能都警察署庁舎

町内9つの駐在所に変更はありません。

地域住民に最も近い場所です。安全安心を守る駐在所員を紹介します。



松波駐在所 ☎ 72-0014
谷口賢良 警部補
これからも地域の皆さんのために頑張ります。



不動寺駐在所 ☎ 72-0632
川端 充 巡査長
何かあったら、いつでも連絡してください。



小木駐在所 ☎ 74-0019
又多 猛 巡査部長
4月以降も駐在所は変わりません。安心してください。



縄文真協駐在所 ☎ 62-0090
西岡靖幸 巡査長
地域の皆さんと一緒に高倉地区の治安を守ってきたいです。



鶴川駐在所 ☎ 67-2200
佐藤淳一 巡査長
気軽にいつでも駐在所に立ち寄ってください。



瑞穂駐在所 ☎ 67-2120
田中邦夫 巡査部長
皆さんと笑顔の絶えない元気な瑞穂地区をつくってきたいです。



鶴町駐在所 ☎ 62-0683
山下峰男 巡査部長
交通事故防止のため反射タスキを忘れずにつけましょう。



柳田駐在所 ☎ 76-0059
鷺竹文雄 警部補
交通事故と振り込め詐欺に遭わないよう気をつけてください。



当目駐在所 ☎ 76-0630
桶田淳二 巡査長
振り込め詐欺に遭わないよう、気軽に相談に来てください。



■能登庁舎で取り扱う主な窓口業務（4月1日以降）

主な窓口業務		能登庁舎
運転免許証の更新	優良運転者講習該当者	○
	一般運転者講習該当者	
	高齢者講習該当者	
違反運転者講習該当者	違反運転者講習該当者	○
	初回更新者講習該当者	
	初回更新者講習該当者	
運転免許証の再交付申請		○
運転免許証の記載事項の変更届出		○
運転免許証の自主返納（申請による運転免許の取消）		○
運転経歴証明書の申請		○
自動車保管場所証明申請・交付		○
道路使用許可申請・交付（協議・交通対策などを必要としないものに限る）		○
警察安全相談の受理		○
落とし物（遺失届・拾得届）の受理		○
被害届・交通事故の届出		○

※所在地・連絡先（☎ 62-1334）は変更ありません。

■珠洲警察署のみで取り扱う主な窓口業務

- ・銃砲刀剣類、古物営業、風俗営業、警備業などの許認可事務
- ・落とし物（拾得物）の返還
- ・自動車運転代行業関係 など

も活発に活動してくれています。警察としては非常にありがたい。統合後もこれまでどおりの協力をお願いしたいと思っています。

安心・安全なまちづくりを

私は赴任以来、「小さくてもキラリと光る能登警察署」をスローガンとして、署員に「町民目線で仕事をしろ」と言い続けてきました。自分が良いと思ったこと、住民のためになると思ったことを積極的にやるという思いが、「反射材着用」や「ほ〜す君」など独自の活動につな

がりました。

4月以降も、これまで培われてきた警察と住民の深い関係を維持しながら、能登警察署の署訓でもある「積極創造」を胸に能登町独自の活動を継続・発展させてほしいと思います。

安心・安全のまちづくりは、警察だけで実現できるものではなく、住民の皆さんの協力が必要不可欠です。

今後も警察に対するご指導とご協力をお願いするとともに、我々警察も、引き続き能登町の治安維持に全力で取り組んでいきます。

※珠洲署と能登署の統合のほか
輪島署と穴水署が統合して輪島署と穴水庁舎に
松任署と鶴来署が統合して白山署と鶴来庁舎になります。

さらなる安心安全への決意

能登警察署最後の署長となる寺西清志署長に、能登警察署管内の特徴や今後の治安維持への決意を聞いた。



安心安全なまちづくりは警察だけでは不可能。住民の皆さんには今後も積極的なご指導とご協力をいただきたい。



寺西清志さん
Teranishi Kiyoshi
警視 | 能登警察署長

統合のメリット

4月1日から能登警察署は珠洲警察署能登庁舎となります。この統合は警察にとっても住民の皆さんにとってもメリットが多いと言えます。

治安に関しては、まず9つの駐在所がそのまま残ります。パトロール要員も増強されるため、事件が発生した場合の初動態勢は今まで以上に迅速・的確に対応できるようになります。

町内にある警察官舎もそのまま残ります。夜間に事件が発生しても官舎から警察官が直行します。ので、警察機動力はより強化されると言えます。

運転免許証の更新など警察窓口業務は、一部を除いてほとんどが残ります（左※参照）。さらに、現在庁舎2階にある受付窓口を1階に降ろす予定にしており、サービスの面から不便是一切ありません。

祭りの警護も万全に

能登警察署の業務は「祭りに始まって祭りで終わる」と言えるほど、祭りの比重が大きいのも活発に活動してくれています。警察としては非常にありがたい。統合後もこれまでどおりの協力をお願いしたいと思っています。

警察と住民の距離

現行警察法が施行されてから58年、能登警察署の署長は私で41代目になります。2年前に赴任して以来、私が能登警察署で感じたことは、住民と警察の関係が濃厚であることです。県内のどの地域よりも、能登町の皆さんは警察を大事にしてくれ、積極的に協力してくれました。これは、いざというときには警察が守ってくれると頼りにしてくれている証しだと感じました。

特に警察に関連するボランティア団体の皆さんは県内で最



能登警察署マスコットキャラクター

能登町一チン

ほ～す君

ほ～す君の生みの親

窪田ますみさん

ほ～す君誕生

「その振り込み馬^まったー！」
お決まりのポーズで防犯を訴える馬のキャラクター。『広報のと』で人気連載中の四コマ漫画『のとけいさつのほ～す君』の一コマだ。

「鳳珠^{ほうす}郡からほ～す君。試しに書いてみたら好評でした」と話すのは、漫画の作者で『ほ～す君』の生みの親、窪田ますみさん（33）＝宇出津＝。

平成22年3月末、夫で警察官の窪田大輔さん（30）が能登警察署生活安全刑事課に配属となり防犯担当に。独自の取り組みを夫婦で考えた末に、キャラクター『ほ～す君』が誕生した。「四コマ漫画にして広報紙で掲載できれば」と考えた大輔さんが町広報情報推進課に打診。22年7月号から『広報のと』での連載が始まった。

振り込め詐欺など最新の犯罪手口からお祭りでの呼びかけまで、毎回テーマを決めるのは大

輔さん。『ほ～す君』最初の読者でもある。

「企画から書き上げるまで10日間くらいで、主人に見せて『いいね』と言われることが一番うれしい」と話すますみさん。昔から漫画を描くのが好きで、中学時代は美術部、高校では美術を専攻していたという。

「伝えたいことを全部書く文字ばかりになってしまします。関心がない人にも見えてもらえるよう、要点を絞ってできるだけシンプルにするよう気をつけています」と語る。

サブキャラ登場へ

連載が続くと「面白い」「毎月楽しみにしている」「隣の人に注意できないことが描いてあってうれしい」などの声が届くようになった。

漫画の好評を受けて、能登警察署は『ほ～す君』を同署のマスコットキャラクターに採用。発砲スチロールや布などの材料を夫婦で集めて、ますみさん手

『ほ～す君』を読んで、防犯についてもう一度考えるきっかけにしてほしい――。

作りの着ぐるみも制作した。

『ほ～す君』の着ぐるみは能登警察署の防犯キャンペーンなどに出勤。振り込め詐欺の被害防止などを街頭で呼びかけた。

「子どもが寄ってきてくれるので親にも関心を持ってもらえます」と防犯担当の大輔さんにはっこり。制作に3週間かかったというますみさんも「思っていた以上に上手にできました」と満足げだ。

22年11月号には読者から提案された新キャラクター、宇出津にちなんだ『うしっ子ちゃん』が登場した。これをきっかけにして、能登警察署は町内小学生を対象に新キャラクターを募集。208点の応募から14点が優秀作品として選ばれた。審査員を務めますみさんは

「自分でも思いつかないキャラがたくさんいて驚きました。サブキャラを登場させることで四コマ漫画の内容も充実させることができました」と振り返る。

最優秀作品『能登町一チン』もますみさんが忠実に再現して制作。年末年始特別警戒取締りでは、寺西清志署長と持木一茂町長が『能登町一チン』を手に夜の街をパトロールした。

安心なまちへの思い

「子どもたちが安心できるまちづくりは一度志した道。こういう形で携わることができてうれしい」と話すますみさん。実は元女性警察官でエアライブル・ピストルの名手。高校時代から国体出場通算8回、優勝3

回という成績を誇るエキスパートだったが、第二子の出産を機に退職した。現在は3人の子どもを持つお母さんだ。

「漫画を描きながら、世の中には分かったつもりが多いたと実感し、自分の勉強にもなっています。漫画を読んでくれた人が、もう一度考えるきっかけにしてほしい」と漫画に込める思いを語る。

警察官には異動が付きもの。大輔さんが異動になって能登町を離れたら『ほ～す君』はどうなるのか。

「夫が異動になっても『ほ～す君』の連載はできるだけ続けていくつもりです」能登町の防犯の一翼を、これからもますみさんと『ほ～す君』が担ってくれそうだ。



努力できることが才能

Trying hard is an ability

～平成 23 年度能登町スポーツ表彰式～

スポーツの分野で活躍した個人や団体を表彰する「能登町スポーツ表彰式」は、2月15日に能都庁舎で行われました。本年度、全国大会や県大会などで優秀な成績を残した120人が表彰を受けました。

※画家の碓伊之助（はざまいのすけ）さんの言葉で、石川県出身メジャーリーガー松井秀喜選手の座右の銘。



◆スポーツ賞

久山隆希（鵜川小）
奥野立樹（鵜川小）
全日本小学生ソフトテニス選手権大会石川県選抜2位
寺下洸平（小松市立高）
濱高彰仁（小松市立高）
ハイスケールジャパンカップ2011個人ダブルス3位
元 悠香（金沢学院東高）
ソフトテニスジュニアジャパンカップU-17シングルス3位
善野功太（同志社大）
全日本大学ソフトテニス王座決定戦団体優勝
能登町役場
浅井弘之・又多敏晴・嶋垣英和・坂下昭徳
全日本実業団相撲選手権団体2部3位

◆スポーツ奨励賞

谷口諒真（柳田小）
安孫 幹（宇出津小）
県ジュニアダブルス大会バドミントン競技個人ダブルス優勝
山本幸太（柳田小）
全国小学生バドミントン大会石川県予選個人シングルス優勝

大町 諒（鵜川小）
辻口 凜（鵜川小）
県小学生学年別ソフトテニスインドア大会個人ダブルス男子4年生の部優勝

牧 和音（鵜川小）
中田優衣（鵜川小）
同女子4年生の部優勝

四方悠雅（小木小）

北信越地区空手道選手権大会小学2年生形の部3位

新谷萌恵（松波小）
團子石和美（松波小）
県シンクロナイズド・トランポリン競技選手権大会カルテットの部優勝

向口和馬（柳田中）

県中学校体育大会陸上競技男子共通砲丸投1位

仙福和弥（鵜川中）
高宮 眞（鵜川中）
県中学校ソフトテニス大会男子個人ダブルス優勝

橋本 遥（鵜川中）
中田依緒里（鵜川中）
北信越中学校総合競技大会ソフトテニス女子個人ダブルス優勝

大屋健一（能登高）
寺尾和真（能登高）
県高校ソフトテニス選抜インドア大会男子個人ダブルス優勝

山下藍里（能登高）
西日本選抜学童軟式野球倉敷大会石川県選抜優勝

茉依

県中学校ソフトテニス大会女子団体優勝

能登高男子アーチェリー部

西出智洋・角田初一・上野智也・濱島和成・鵜川達也

県高校総体・県高校新人体育大会男子団体優勝

能登町ソフトテニス協会

笠原 淳・川端光明・下島慎也・道地亮太・馬場准樹・泉原崇宏・清水基善

県団体インドアソフトテニス選手権大会男子団体優勝

能登町ソフトテニス協会
赤坂由紀・蔵 理恵子・高田あかり・持木鮎美・坂尻春美・蓼島美幸・畠中歩美・釣谷由依・宮崎千曉

県民体育大会ソフトテニス競技女子団体優勝

能登町アーチェリー協会
玉地正幸・出戸崇之・大井 凌

県民体育大会アーチェリー競技男子団体優勝

能登町アーチェリー協会
駒寄佳代・駒寄真弓・久保 文

同女子団体優勝

◆スポーツ敢闘賞
國谷晃汰（真脇小）

スゝ個人ダブルス優勝

山瀬侑希（文大付属杉並高）
全国高校総体ソフトテニス競技東京都予選女子個人ダブルス優勝

佐々木美和（和歌山信愛女子短大付属高）
和歌山県高校ソフトテニス新人大会女子個人ダブルス優勝

鶴野晋太郎（富山大）
北信越学生ソフトテニス選手権大会男子個人ダブルス優勝

丸谷幸代（金沢星稜大）
同女子個人ダブルス優勝

釣谷由依（金沢学院大）
同女子個人ダブルス2位

二田早智子（金沢大）
北陸学生ソフトテニス新人大会個人ダブルス優勝

下島慎也（金沢星稜大）
北陸学生ソフトテニス選手権大会男子個人ダブルス優勝

奥 亜紗日（金沢大）
同女子個人ダブルス優勝

濱高一仁（金沢大）
北信越学生ソフトテニス選手権大会男子個人ダブルス3位

佐々木真子（関西大）
関西学生春季ソフトテニス選手権大会女子個人ダブルス2位

田中成美・川原紫帆・津雲遥香（北陸学院大）
県学生バスケットボール選手権

河村奈々（能登高）

同女子個人ダブルス優勝
角田初一（能登高）

北信越高校体育大会アーチェリー競技男子個人3位

上野智也（能登高）
県高校新人体育大会アーチェリー競技男子個人優勝

紺谷亜樹（能登高）
同女子個人優勝

橋本麻衣・善野由希栄・岩崎加奈・中野 綾・谷内美咲・山本未来（飯田高）

県高校総体ソフトテニス競技女子団体優勝

干場英幸（飯田高）
北信越高校体育大会ウエトリフティング競技男子69kg級2位

藤田智広（飯田高）
同男子105kg級優勝

宮本夏帆（飯田高）
同女子69kg級優勝

中田大雅（日本航空高石川）
国民体育大会ソフトテニス競技少年男子出場

羽根伸太郎（金沢高）
県高校新人体育大会バスケットボール大会男子団体優勝

藤田 憂・中谷美里（津幡高）
同女子団体優勝

久山亜衣（金沢学院東高）
県高校1年生大会（ソフトテニ

◆スポーツ振興賞

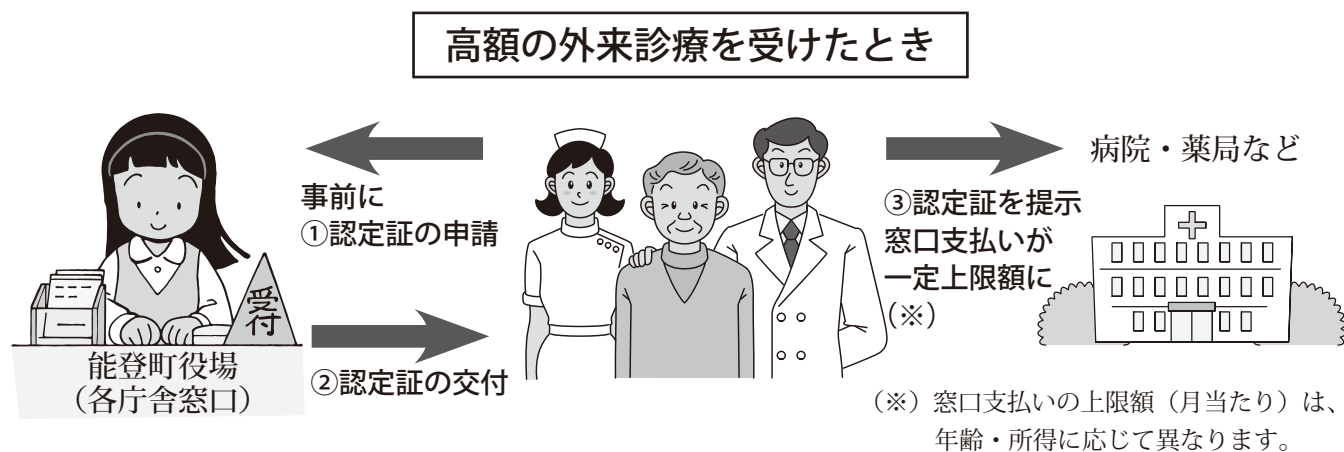
平 未知子（町ゲートボール協会）
競技者として県民体育大会や北信越大会に出場し好成績を収めてきた。町ゲートボール協会の事務局員として活動するとともに、県ゲートボール協会の普及員を務め、競技の普及振興にも尽力してきた。

※受賞者は、各学校、体育協会、スポーツ少年団などの推薦を受け、能登町社会教育委員会の審議を経て決定されました。

高額な外来診療を受ける皆さまへ

【平成 24 年 4 月 1 日から】

「認定証」（限度額適用認定証）などを提示すれば、
同一医療機関での窓口支払いが一定の金額にとどめられます。



これまでの高額療養費制度の仕組みでは、高額な外来診療を受けたときに 1 カ月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額を支払う必要がありました。
平成 24 年 4 月 1 日からは、限度額を超える分を窓口で支払う必要がなくなります。

高額な外来診療受診の人	事前の手続き	病院・薬局などで
・70 歳未満の人 ・70 歳以上で非課税世帯の人	役場各窓口「認定証」の交付を申請してください	「認定証」を窓口提示してください
・70 歳以上 75 歳未満で非課税世帯ではない人	必要ありません	高齢受給者証を窓口提示してください
・75 歳以上で非課税世帯ではない人	必要ありません	後期高齢者医療被保険者証を窓口提示してください

※「認定証」の交付を受けている人は引き続き使用できます。

※「認定証」を提示しない場合は、従来どおりの手続きになります。

国民健康保険加入の人は、高額療養費の支給申請をしていただき支払った窓口負担と限度額の差額が後日支給されます。後期高齢者医療加入の人は初回のみ支給申請していただくと、2 度目以降は自動償還払いとなります。

<注>加入している医療保険が国民健康保険または後期高齢者医療制度でない場合

申請方法、自己負担限度額など詳細は、勤務されている事業所にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 役場健康福祉課 国民健康保険係・後期高齢者医療係 ☎ 72-2502

大切な人の悩みに
気づいてあげてください。
3 月は『自殺対策強化月間』です。



年間 3 万人を超える自殺者の現状を踏まえ、国は「いのちを守る自殺対策緊急プラン」を決定し、月別自殺者数が最も多い 3 月を「自殺対策強化月間」と定めています。

自殺は社会的な支援があれば「避けることができる死」です。人ごとにせず、自分自身を取り巻く現代社会の問題としてみんなで取り組むことが、健康で生きがいある社会の実現につながります。

自殺の原因は一つではありません。▽過重労働▽経済問題▽人間関係▽病氣―などさまざまな問題が複雑に絡み合い、心理的に追いつめられていった末の死であると考えられています。

また、うつ病を発症して自殺に追い込まれる人が大変多いことは近年知られるようになってきました。

長引く不眠は「うつ病」が原因かもしれません

うつ病は、気分の落ち込みなど精神的な症状だけが現れると思われがちですが、実はさまざま

な症状が出てきます。食欲の低下や頭痛、肩こり、腰痛などが現れる場合もありますが、ほとんどの人に現れる症状として「睡眠障害」があります。

(不眠症の 3 つのパターン)

○疲れているのに布団に入ってもなかなか眠れない

○夜中に目を覚ましてしまうとその後眠れなくなってしまう

○朝早くに目覚めて、再び眠れない

このような不眠症状が 2 週間以上、休日も含め毎日続くときは、「うつ」のサインかもしれません。

眠れないといって酒量が増えるなどアルコール依存症とうつ病も、高い頻度で併発します。周りの人から見ても、睡眠の問題には気づきやすいものです。まずは「眠れますか?」の一言から、身近な人へ声をかけを行ってみてください。

うつ病は、適切な治療を受けて、しっかりと休養を取れば治すことのできる病気です。「たかが眠れないくらいで」と思わ

◎もし、あなた自身が悩んでいたら・・・
一人で悩むより、まず相談を

こころの健康相談統一ダイヤル

☎ 0 5 7 0 (0 6 4) 5 5 6

ず、不眠が続くようでしたら、早目に専門家に相談することをお勧めしてあげてください。

☎ 役場健康福祉課

☎ 72-2504

金大生が黒川地区で里山資源を掘り起こし 調査結果を地元住民へ発表

金沢大学地域創造学類の学生らと黒川地区住民とによる地域資源掘り起こしのための意見交換会は2月11日夜、セミナーハウス山びこで開かれました。学生らは黒川地区で床柱やかもいを漆で塗った住宅が多いことなど調べた結果を報告し、「あえのこと」などの伝統行事について住民に質問しました。

県の「里山チャレンジ支援事業」の一環で、学生が地区の特色を掘り起こして提示し、住民が地元の暮らしに潜む文化を見つめ直す機会とします。感動を覚えた地域資源などをアルバムにして目に見えるかたちで残すことも計画しています。



地域資源カードを使って住民に説明する金大生

四辻可苗さんが中国での活動を報告 日本と中国の文化の架け橋に

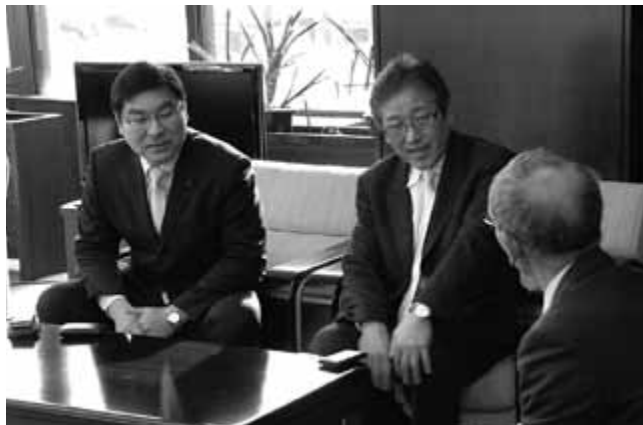
国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として中国で活動した四辻可苗さん（31）＝笹川＝が2月16日、能登庁舎を訪れ、持木町長に現地での活動を報告しました。

平成22年1月から2年間、中国安徽省合肥市にある3年制の大学で日本語教師として活動してきた四辻さん。「価値観の違いに苦労しましたが、2年間自分のできることをやってきました。今後は日本にいる外国人の力になりたい」と語り、持木町長は「中国での貴重な経験を今後に生かしてください」と激励しました。



中国での活動を報告する四辻さん

田下副町長と懇談する坂巻議長（中）と藤井副議長



流山市議会の議長・副議長が訪問 姉妹都市の交流促進に向けて

1月17日に能登町と姉妹都市締結をした千葉県流山市の市議会から、坂巻忠志議長と藤井俊行副議長が1月31日来町しました。議会庁舎を視察した両氏は、久田良平議長、宮田勝三副議長とともに能都庁舎を訪れ、田下副町長と懇談しました。

坂巻議長は「すばらしい景色で、関東から来る人にとっては雪を見るだけでも観光になります」と話し、田下副町長は「流山の皆さんが気軽に能登町を訪れるようご協力をお願いします」とあいさつしました。この後は町立美術館や海洋深層水施設、真脇遺跡縄文館などを視察しました。

自衛官募集相談員の川端登喜夫さんから激励を受ける西出さん



自衛隊入隊予定者激励会 国民を守る自衛官の一員として

4月から自衛隊に入隊を予定している若者の激励会が2月7日、能都庁舎で行われ、持木町長や自衛隊関係者らが西出智洋さん（能登高校3年）＝鶴町＝を激励しました。

この春から陸上自衛隊への入隊を予定している西出さんに、持木町長は「これまで陸上、アーチェリーで鍛えた強じんな体と精神で、全国から集まる仲間たちと頑張ってください」と言葉を贈りました。西出さんは「国民の安全を守る自衛隊員の一員として、皆さんの期待に応えられるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。

アマメハギ 春の訪れを告げるかわいい鬼たち

立春前夜、節分の夜に行われる国指定無形民俗文化財「アマメハギ」。今年も2月3日夜に、清真、秋吉、河ヶ谷地区で鬼に扮した子どもたちが豊作と家内安全を祈願しました。

清真地区では園児一人と小学生4人が手作りの面を付けて30軒の家を回りました。子どもたちは道中や玄関先で「アマメー、アマメー」と声を上げます。各家庭では勤労勤勉を鬼に誓って、手おけに小銭やお菓子をに入れて退散してもらいました。



▲秋吉地区の天野登さん宅では、6人の子どもたちが「悪い子はいないか」と小さな子どもたちを脅かしました。

◀手作りの面をかぶって家々を回った清真地区の子どもたち

合鹿庵で「春のあえのこと」 田の神様に今年の豊作を祈願

冬の間、家の中で過ごした田の神様を田んぼに送る「春のあえのこと」は2月9日、町内各地の農家などで行われました。

あえのこと神事を一般公開している柳田植物公園合鹿庵では、主人役を務める中正道さん＝上町＝が目の不自由な田の神様を丁寧にもてなし、今年の豊作を祈願しました。

能登の里山里海が世界農業遺産に認定され、注目を集めるあえのこと。今回も大勢の人が訪れてあえのこの様子を見守りました。神事の後は、中さんを囲んであえのこの料理や習わしなどについて質問していました。



大勢の見物人が見守る中、田の神様をもてなす中さん

のり巻き作りを楽しむ子どもたち



まつなみキッズセンターで巨大のり巻き作り 能登町で一番長～いのり巻き

2月11日、まつなみキッズセンターで「おはなし会とランチ」が行われ、園児や小学生30人が巨大のり巻き作りに挑戦しました。今年はJ A内浦町から米の提供を受け、昨年よりも長いのり巻きを目標にしました。子どもたちはJ A女性部や農業委員会委員らと協力しながら、用意したのり80枚を並べ8升の米を広げていきました。具材をのせ、声をそろえて一斉に巻いたら出来上がり。長さは約13メートルで昨年より3メートル長いのり巻きの完成に喜んでいました。のり巻きを切る間に食育の紙芝居を楽しんだあと、全員でおいしくいただきました。

ニュース 能登町農業委員会

寒ぶりまつりで義援金を募集

農地に関する事務を執行する能登町農業委員会が、その活動をPRするために、のと寒ぶりまつり（1月22日）の会場につきたてのお餅を振る舞いました。1月25日には、上出八郎会長と西中宏美委員が来庁。会場で設置した東日本大震災義援金箱を持木町長に手



義援金箱を手渡す西中委員（中央）と上出会長

渡しました。上出会長は「たくさんの人が協力してくれました。復興に役立ててください」と話しました。

お知らせ 東日本大震災義援金

義援金総額12,489,856円（2/10 現在）皆さんの善意は必ず被災地へ届けます。

義援金の受け付けは、各庁舎、支所、出張所で引き続き行っています。今後ともご協力をお願いします。12月10日から2月10日に役場窓口で義援金を受け付けた団体（敬称略）
・能登町農業委員会

☎総務課 ☎ 62-8510

お知らせ 有線テレビ

能登町インターネット接続サービス 加入促進キャンペーンを実施中です！

能登町有線テレビ網を利用したインターネット接続サービスの加入促進キャンペーンを実施しています。期間中は加入負担金（10,500円）と基本工事費用（5,775円、柳田地区 6,825円）が無料になります。これを機会に利用してみませんか。

〈申込期限〉3月30日(金)まで

〈プランと月額料金〉

- 1M接続サービス 月額 1,785円（税込み）
- 10M 接続サービス 月額 2,625円（税込み）
- 30M 接続サービス 月額 3,990円（税込み）

〈申込書と申込先〉 広報情報推進課、各サービス室、各支所・出張所

☎広報情報推進課 ☎ 76-8301

ニュース 総務大臣表彰

向峠智隆さん(当目)に総務大臣表彰

「地域づくり総務大臣表彰」の表彰式が2月4日に宮城県仙台市で行われ、向峠智隆さん＝当目＝が個人表彰を受賞しました。

向峠さんは、昭和62年の当目公民館長時代から地域に伝わる猿鬼伝説を題材に地域振興に取り組み、現在は町の観光ボランティアガイド協会副会長を務めています。2月6日には能都庁舎を訪れ、持木町長に受賞の喜びを報告。「今まで猿鬼の取り組みを支えてくれた皆さんへの表彰。これからも息の続く限り町の観光に貢献していきたい」と語りました。



受賞の喜びを語る向峠さん

講演 文化講演会

高田宏氏(作家)の文化講演会を開催

県立九谷焼美術館館長で作家の高田宏氏の文化講演会に100人を招待します。テーマは奥能登の文化、教育、自然環境保護などについて講演いただきます。参加費は無料です。ぜひ申し込みください。

〈日時〉3月26日(月) 18:00 開演

〈会場〉能登勤労者プラザ（越坂）

〈申込先〉能都ロータリークラブ ☎ 62-0777 または 内浦ロータリークラブ ☎ 72-1144

〈主催・問い合わせ〉実行委員会（代表井上恵三） ☎ 090-1554-7268

【高田宏氏プロフィール】

1932年京都市に生まれ石川県加賀市大聖寺で育つ。京都大学文学部（仏文）卒業後、光文社に就職。アジア経済研究所、エッソ石油では諸雑誌の編集に携わる。大佛次郎賞、亀井勝一郎賞（1987年）、読売文学賞（1990年）、雪国文化賞（1995年）、旅の文化賞（1996年）を受賞。2002年4月から県立九谷焼美術館長、同年12月から深田久弥山の文化館館長。



【能登町役場】☎62-1000(代)	町民課☎62-8500	柳田サービス室☎76-8300	(健康推進)☎72-2504
	能都サービス室☎62-8500	農業委員会☎76-8303	(包括支援)☎72-2513
	総務課☎62-8510	建設課☎76-8304	内浦サービス室☎72-2500
	企画財政課☎62-8503		上下水道課☎72-2507
能都庁舎（☎62-4506）	海洋深層水対策室☎62-8533	内浦庁舎（☎72-2108）	教育委員会事務局☎72-2509
	会計課☎62-8509		健康福祉課
	監理課☎62-8504		(児童保育)☎72-2512
	税務課☎62-8505		(医療介護)☎72-2502
柳田庁舎（☎76-0039）	広報情報推進課☎76-8301	議会庁舎	議会事務局☎76-8310
	収納対策室☎62-8506		
	環境対策課☎62-8507		
農林水産課☎76-8302			

お知らせ 能登町音頭

能登町音頭カラオケグランプリ開催。

能登町音頭の完成を記念してカラオケグランプリを開催します。

当日は審査委員に作曲を担当した乙田修三さんと歌手の永井裕子さんが来訪します。

見学や応援は無料ですのでご参加ください。

〈日時〉3月11日(日) 15:00～
〈場所〉柳田植物公園内レストラン
☎柳田植物公園 ☎ 76-1680



永井裕子さん

お知らせ ごみ収集

能都地区のごみ収集日を変更します。

4月から能都地区の空きカン、空きビン、ペットボトルの収集日を変更します。カレンダーには赤字で印字してありますのでご確認ください。

※調理くずや残飯を海や川へ流すのはやめましょう。
☎環境対策課 ☎ 62-8507



お知らせ 能都埋立処分場

平成24年4月1日から、能都埋立処分場の持ち込み制限を実施します。

能都埋立処分場の残容量が少なくなってきたことで、持ち込みを制限します。ご理解とご協力をお願いします。
※主な受入制限廃棄物：木くず、草木、廃プラなど
※町内民間業者で、ほぼ処分可能です。

☎環境対策課 ☎ 62-8507

募集 能登町奨学生

平成24年度能登町奨学生を募集します。

平成24年度能登町奨学金貸与を受ける生徒・学生を募集します。必要書類など詳しくは、町ホームページまたは下記までお問い合わせください。

◆貸与区分

〈区分〉 〈金額：月額〉

- ・高校生 2万円
※能登高校入学者には、2万5千円の特枠制度あり
- ・短大・専修・高専 2万5千円
- ・大学生（4年制） 3万円

◆受付期間 4月9日(月)～4月25日(水)
☎教育委員会事務局 ☎ 72-2509

ニュース 広報コンクール

県広報コンクールで7年連続の最優秀賞

平成24年石川県広報コンクールの結果が1月26日に発表され、広報のとは広報紙（町の部）で7年連続の最優秀賞、組み写真部門で優秀賞を受賞しました。最優秀賞となったのは「命の防波堤」と題して防災を特集した23年11月号。「企画の内容・展開など圧倒的に読ませる力がある。最終面に運動会の笑顔の写真を持ってきたのが効果的」などと評価されました。

最優秀作品は(株)日本広報協会が主催する全国広報コンクールに石川県代表として推薦されます。



	石川県広報コンクール			全国広報コンクール		
	広報紙(町)	一枚写真	組み写真	広報紙(町村)	一枚写真	組み写真
H18年	最優秀賞	優秀賞	最優秀賞			
H19年	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞	佳作		4席
H20年	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞			
H21年	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞		入選	
H22年	最優秀賞		優秀賞	入選		
H23年	最優秀賞		最優秀賞	2席		
H24年	最優秀賞		優秀賞	5月に発表予定		

参加者は日本語ができる実習生にレシピを教わるなど調理を楽しむ、その後は料理を味わいながらベトナムの生活文化について理解を深めました。



▲生春巻きとベトナム風お好み焼きを作りました

平成23年度最後の「能登国際交流サロン」は2月15日夜、役場能都庁舎で開かれ、小木の縫製会社エムエヌファッションで働くベトナム人女性実習生9人と地域住民の皆さんがベトナム風のお好み焼きと生春巻きを作りました。

ベトナムの家庭料理を作りました

多文化共生のとびら



▲ベトナム女性に教わりながら料理に挑戦する参加者

町民の皆さんと在住外国人とが交流する国際交流サロンを平成24年度も引き続き開催していきます。

日程は次のとおりで、偶数月の第3火曜日午後7時からです。お気軽にご参加ください。

【国際交流サロン開催予定日】

- ① 4月17日(火)
- ② 6月19日(火)
- ③ 8月21日(火)
- ④ 10月16日(火)
- ⑤ 12月18日(火)
- ⑥ 2月19日(火)

【入札結果】 1月16日～2月15日

広報紙では、契約金額が500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

☎監理課 ☎62-8504

件 名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
配水管布設工事（百万脇地内） 2 工区	柳田	上下水道課	25,683,000 円	北能産業(株)
公共下水道事業（松波処理区） 雨水函渠工事その 4	松波	上下水道課	8,725,500 円	宝成工建(株)
公共下水道事業（松波処理区） 管渠築造工事その 2	松波	上下水道課	5,565,000 円	(株)西中建設
百万脇送水ポンプ場 築造工事	柳田	上下水道課	18,711,000 円	鈴平建設(株)
宇出津地区 都市再生整備計画事業 南北道路整備工事（1 工区）	宇出津	建設課	12,600,000 円	(有)ケイ・エム・ティ
南北道路整備工事（2 工区）	宇出津	建設課	8,400,000 円	藤田建設運送(有)
南北道路舗装工事（1 工区）	宇出津	建設課	12,600,000 円	北川ヒューテック(株)
南北道路舗装工事（2 工区）	宇出津	建設課	13,440,000 円	丸建道路(株)
町道宇出津 62 号線 消雪設備設置工事	宇出津	建設課	20,790,000 円	北菱電興(株)
町道宇出津 62 号線 整備工事（消雪工）	宇出津	建設課	10,185,000 円	藤田建設運送(有)
普通河川舞谷川 河川災害復旧工事	上長尾	建設課	8,820,000 円	北成土木(有)
城野団地 外構工事	宇出津 山分	建設課	8,452,500 円	藤田建設運送(有)
梅ノ木団地建替事業に伴う外構工事（道路）	松波	建設課	8,883,000 円	(株)サンテック
林道赤畑線 開設工事	当目	農林水産課	22,050,000 円	(株)青木産業
林道上河内線 開設工事	北河内	農林水産課	17,209,500 円	寺西建設(株)
町道 2 級宇出津 8 号線 災害防除工事（その 2）	宇出津	建設課	7,140,000 円	(株)ランドスケープ開発

消防

春季火災予防運動ほか

住宅用火災警報器を設置しましょう。

3月20日(火)から3月26日(月)までの一週間は、春季火災予防運動の実施期間です。3月18日(日)には消防団による町内火災予防防火パレードを実施します。

全国統一 一般防火標語

消したはず 決めつけないで もう一度 (総務省消防庁)

山火事防火標語

忘れない 山への感謝と 火の始末 (日本森林林業振興会)

能登町文化財防火デー

1月26日は文化財防火デー。全国各地でさまざまな取り組みが実施されました。能登町でも1月29日に願成寺（上長尾）で文化財防ぎょ訓練が行われました。施設内の防火点検、初期消火訓練、避難行動訓練のあと、本堂内陣から出火し延焼の恐れがあるという想定で、指揮隊、消防隊、小間生分団ポンプ車など4台が消火活動を実施しました。



消火活動を実施する消防隊と小間生分団

奥能登広域圏統一防火標語・書道

平成23年度奥能登広域圏統一防火標語で能都中学校1年の数馬芽衣さん（写真左）が最優秀賞、同じく防火書道（小学生の部）で鶴川小学校5年の船下愛美梨さんが最優秀賞を受賞しました。



納期

税金 / 保険料

今月の納期限は 4 月 2 日(月)です。

〈税 金〉国民健康保険税第 9 期

〈保険料〉介護保険料第 9 期

後期高齢者医療保険料第 12 期

ニュース

幕下力士・玉大輝が表敬訪問



玉大輝(宇出津出身)が来庁し抱負を語る。

1月24日、玉大輝（本名：久山毅）さんが能都庁舎を訪れ、初場所の報告と今後の抱負を持つ木町長に語りました。

初場所 5 勝 2 敗と勝ち越した玉大輝

お知らせ

能登町労働保険緊急助成金

事業主の皆さん、忘れずに申請を!!

事業主が納めている雇用保険料の一部を助成します。忘れずに申請手続きをしてください。

〈対象〉能登町に事業所(営業所)があり、労働保険料(雇用保険料)を納めている事業主

〈助成額〉平成22年度分の雇用保険料のうち、従業員に係る事業者負担額の100分の20以内

◎ 22 年度の雇用保険確定額が 50,000 円だった場合は 6,100 円程度助成されます。

(業種によって掛け率が異なりますので、助成額は増減します)

〈申請手続き〉ふるさと振興課、柳田・内浦サービス室、支所・出張所に備えてある申請書に必要事項を記入し、平成22年度分の確定保険料(雇用分)が記載してある納入通知書等の写しおよび平成22年度分の労働保険料等領収書の写しを添付して申請してください。

〈注意事項〉助成金の申請期間は、平成24年3月31日までです。お早めに手続きを済ませてください。

☎ふるさと振興課 ☎62-8532

お知らせ

障害者スポーツ

第12回石川県障害者スポーツ大会が開催されます。

〈期日〉5月27日(日)

〈場所〉西部緑地公園陸上競技場、いしかわ総合スポーツセンターほか

〈対象者〉県内在住、在勤、在学の13歳以上の障害者(身体・知的・精神)

〈実施競技〉陸上、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング、フライングディスク、バレーボール

〈申込先〉役場健康福祉課 ☎72-2503

能登町社会福祉協議会 ☎72-2322

〈締め切り〉3月16日(金)

〈主催〉石川県障害者スポーツ大会実行委員会

☎健康福祉課 ☎72-2503

遊能登

EnjoyNoto
奥能登イベント情報

能登町からの情報として、2市1町の広報紙に「酒樽がえし」を紹介しました。

穴水町



○「のとりあーなスイーツコンテスト」
〈日時〉3月25日(日) 12:00～
〈入場〉無料
〈見所〉能登の食材を生かしたおいしいスイーツやジャンボ鍋を召し上がりませんか。
☎穴水町地域づくり協議会 ☎ 0768-52-3645

輪島市



○能登・雪割草まつり2012
〈日時〉3月24日(土)、25日(日) 10:00～15:00
〈場所〉門前町総持寺通り
〈見所〉雪割草の群生地として有名な門前町で、雪割草の展示や即売会が行われます。冬の寒風に耐え、雪を割って可憐な花を咲かせる愛らしい姿をお楽しみください。

珠洲市



○的射ち神事
〈日時〉3月15日(木) 14:00ごろ～
〈場所〉須須神社金分宮（寺家）
〈見所〉宮司が東西南北の各方向に弓を構えて「五穀豊穡」などを祈願し、的に向かって計4回矢を放ちます。矢が的に当たるといい年になるとされています。

今日のオススメ！



■**蛸ノ記** 葉室 麟
第146回直木賞受賞作。豊後・羽根藩の奥祐筆・檀野は、罪を犯し切腹する運命の元郡奉行・戸田を監視することに。檀野は、戸田の無実を信じ行動に出るが…

■道化師の蝶



円城 塔
東北大学と東京大学で物理学を専攻するという経歴を持つ作者。SF、前衛…ジャンルや言語を超えた世界感。第146回芥川賞を射止めた話題作。

3月の新刊案内

共喰い 田中慎弥
ジェノサイド 高野和明
舟を編む 三浦しをん
下山の思想 五木寛之
聞く力ー心をひらく35のヒント 阿川佐和子
しろくまちゃんのほっとけーき わかやま けん
いないいないばあ 松谷 みよ子 ほか

行事あんない

■おはなし会 14日(水) 15:30
■読書会 21日(水) 13:30
〈開館時間〉水～日曜日 9:00～17:00
〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日

図書館へおいでよ

中央図書館（牟岐市公民館内）

☎ 62-3458

児童館だより

こどもみらいセンター ☎ 62-1503 ★：対象未就園児の親子

◆開館時間 9:15～17:00 ◆休館日 月曜日、第3日曜日
3日(土) 13:30 こどもクッキング（要予約）※小学生以上
9日(金) 10:30 ★子育て教室（弁当づくり・要予約）
10日(土) 8:30 遠足（能登地区文化交流会・要申込）※小学生以上
16日(金) 10:30 ★ふれあいタイム・ママ喫茶（要予約）
23日(金) 10:30 ★身体測定
27日(火) 13:30 ニュースポーツ大会（第2回）※小学生以上

まつなみキッズセンター ☎ 72-0269

◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日
7日(水) 15:00 読み聞かせボランティア「ひまわり」
9日(金) 15:30 ペン上手（硬筆学習）
14日(水) 15:00 ひなまつりミニお茶会
17日(土) 14:00 読み聞かせボランティア「ひまわり」
21日(水) 15:00 あっぶるたいむ「オセロ大会」
23日(金) 15:30 ペン上手（硬筆学習）

「協働のまちづくり」について考えませんか

「協働」とは、同じ目的のために対等の立場で協力して共に働くことです。能登町が抱えているいろいろな課題を解決し住みよい町をつくっていくために、行政だけではなく町民の皆さんと行政が一緒になった「協働のまちづくり」を進める必要があります。あなたも協働のまちづくりについて考え、能登町の協働コーディネーターを目指しませんか。

講演会「協働によるまちづくりー参加と協働の現場からー」 住民参加と協働によるまちづくりについて事例などを紹介し、参加者とともに協働によるまちづくりについて考えます。 ■日時 3月15日(土) 18:00～19:30 ■会場 役場能都庁舎3階研修室 ■定員 50人 ■講師 埴 正浩（らち・まさひろ） 能登町松波出身、能登町第1次総合計画策定を支援（株）日本海コンサルタント専務取締役 博士（工学）、技術士（総合技術監理部門、建設部門） 金沢大学非常勤講師、金沢工業大学非常勤講師	
--	--

第3回能登町協働コーディネーター養成講座（初級編） 能登町では多様なメンバーの個性を生かしながら全体を統合し方向づけていくコーディネート力を持った人材の育成を目指し、1月から協働コーディネーター養成講座を開催しています。初級編はこれが最終回で、今回のみの受講も可能です。	
■日時 3月6日(土) 18:00～20:00 ■会場 役場能都庁舎3階研修室 ■定員 20人 ■内容 【講義】協働コーディネーターの役割、まちづくり計画の作り方 【実習】まちづくりの理念をつくる、目標達成評価 ■講師 森山奈美（もりやま・なみ） （株）御祓川代表取締役、いしかわ地域づくり協会コーディネーター、金沢工業大学非常勤講師	

※講演会と講座は共に申し込みが必要です。講演会は3月12日(月)、講座は3月5日(月)が締め切りです。■申込先 役場ふるさと振興課 ☎ 62-8532

スポーツカルチャー
室内&結果

第41回能登町駅伝競走大会
〈日時〉3月25日(日) 9:30～雨天決行
〈場所〉柳田植物公園内特設コース
〈競技方法〉1チーム4走者によるたすきリレー
〈部門〉①小学校の部②中学校の部③一般の部（すべて地域は問いません）
〈参加料〉1チーム2,000円
〈申し込み〉町陸上協会 高田清保
☎ 62-0124 FAX62-1250

がんばりました（結果）
第19回石川県ミニバスケットボール選抜大会（1/21・22）
〈女子〉③宇出津ミニバス

第4回能登町民ソフトバレーボール大会（1/29）

〈男子〉①高倉スポーツクラブA②高倉真結会A③高倉 YOUNG DAIS
〈女子〉①みずほ48②宇出津楽しいソフトバレー③白丸レインボーズ



第8回西日本選抜学童軟式野球倉敷大会（12/17・18）
①オール石川レッド（石川県選抜）
国谷晃汰（高倉スポーツ少年団）



県選抜として出場とした国谷君（前列左から2番目）



2012年度のスポーツ安全保険の加入受け付けが3月1日から始まります。この保険は、スポーツ・文化・ボランティア活動などを行う5人以上のグループを対象として、経路往復中も含めた傷害事故や賠償責任を負う事故を補償するものです。万が一に備えて加入しましょう。

【加入区分・掛金】			
加入対象者	補償される団体活動	区分	掛金 一人年額
子ども (中学生以下)	団体活動全般	A1	円 800
	団体活動全般 上記以外 (個人活動・個人練習など)	AW	1,450
大人	文化・ボランティア・地域活動	A2	800
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,850
	子どものスポーツ活動の指導 (C区分でも加入可)	AC	1,300
	65歳以上 スポーツ活動 (C区分でも加入可)	B	1,000
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000

※上記以外にインターネット加入に限り、開催期間から3カ月以内の短期スポーツ教室専用の加入区分があります。

【対象となる事故】
団体活動中の事故、経路往復中の事故

【受付期間】
平成24年3月1日から25年3月30日

【保険期間】
平成24年4月1日から25年3月31日
(4月1日以降の申し込みは、加入手続きの翌日から有効)

【問い合わせ】
財スポーツ安全協会石川県支部
(財石川県体育協会内)
☎ 076-268-3100
または町教育委員会事務局 ☎ 72-2509

【ホームページアドレス】
<http://www.sportsanzen.org>

☎ 62-1311

<http://www.hospitalnet.jp/>

診療情報は、病院ホームページで確認できます。

■医師変更のお知らせ

2月から婦人科医師が下記のとおり変更しています。
藤井医師→柴田医師

■糖尿病・内分泌外来診察日の案内

糖尿病のコントロール・治療が必要と判断された人、
高脂血症などの人を対象に、専門医が精密検査や治療を
行います。内科外来までお越しください。

診察：太田医師

3月の診察日：12日(月)、19日(月)

■小森院長に「医療功労賞」

地域医療に長年貢献した人をたたえる「第40回地域
医療功労賞（読売新聞社主催）」の表彰式が2月14日、
金沢市内で行われ、公立宇出津総合病院院長の小森和俊
先生に表彰状が贈られました。小森院長は「立派な賞を
いただき、医者冥利に尽きます。今後も地域医療に専念
します」と抱負を語りました。



◆乳児健診・BCG接種

〈日時〉4月5日(木) 〈受付時間〉12:45～13:00
〈対象〉平成23年11月3日～1月5日生まれ
〈場所〉能都庁舎 1階集会室
〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、BCG 予診票
バスタオル1枚

◆1歳6カ月児健診

〈日時〉3月22日(木) 〈受付時間〉13:00～13:15
〈対象〉平成22年7月11日～8月31日生まれ
〈日時〉4月26日(木) 〈受付時間〉13:00～13:15
〈対象〉平成22年9月1日～10月26日生まれ
〈場所〉能都庁舎 1階集会室
〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票

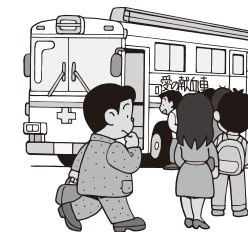
◆離乳食教室～離乳食開始から2回食まで編～

これから離乳食を始めるころから2回食（8カ月ごろ）
までの教室です。参加を希望する人は、3月5日までに役
場健康福祉課までお申し込みください。参加費は無料です。
身体計測もできますので、ぜひ参加してください。
〈日時〉3月13日(火) 〈受付時間〉10:00～10:20
〈場所〉こどもみらいセンター
〈持ち物〉母子健康手帳、大人用エプロン、
子ども用エプロンとスプーン

◆献血のお知らせ

〈日時〉3月8日(木) 12:30～16:30
〈場所〉小木支所

〈日時〉3月9日(金) 9:00～12:00、13:00～15:00
〈場所〉内浦庁舎



きときと 来人喜人事業報告会＆「きときと朝ご飯レシピコンテスト」について

能登町と石川県立看護大学の連携事業の1つとして1月より募集していました「きときと朝ごはんレシピコンテスト」の一
次審査が先日終了しました。

一次審査で選ばれた上位5人に3月10日、能登空港で実際に調理していただき、審査員による実食審査があります。それ
と合わせて、「来人喜人里創り」創成プロジェクトの中間報告会を開催します。

報告会では、昨年から行われてきた事業の報告や能登町の特産品を使った「新・ご当地スイーツ」の発表会も行われます。当日、
皆さんからご当地スイーツの素敵な名前を募集します。参加は自由（無料）ですので、たくさんのご来場お待ちしております。

【日時】3月10日(土) 13:00～

【場所】能登空港4階 生涯学習センター 会議室A・B

【参加費】無料 ※能登の新・スイーツを限定無料配布します。

【問い合わせ】来人喜人（きときと）里創り創成プロジェクト事務局 ☎ 076-281-8402 E-mail renkei@ishikawa-nu.ac.jp
役場健康福祉課 ☎ 72-2504

作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理（毎月19日は家族団らん食育の日）

【レシピ22】米粉を使ったクリームシチュー

小麦粉を使うよりも簡単にホワイトソースが作れ、失敗が少ないシチューです。
大根やかぶなど冬の野菜を加えても美味しいです。

材料（2～3人分）		〇作り方	
たまねぎ	半分		
人参	1本		
じゃがいも	1個		
		①材料を食べやすい大きさに切る。 ②熱した鍋にオリーブ油を入れ、野菜とベーコンを炒める。 ③しんなりしたら弱火にして蒸し焼きにする。 ④コンソメと水を加えて、さらに煮込む。 ⑤具がやわらかくなったら米粉を牛乳でといて加え、さらに煮込む。 ⑥塩・こしょうで味を調える。	
ベーコン	2枚		
水	300cc		
コンソメ	1個		
米粉	大さじ3 （上新粉でもよい）		
牛乳	200cc		
オリーブ油	小さじ2		
塩・こしょう	少々		

予防接種はお済みですか？

3月1日から7日は子ども予防接種
週間です。この週間は予防接種に対す
る関心を高め、予防接種率の向上を図
ることを目的としています。

次に該当し、未接種の場合は早めに
接種しましょう。3月末日までは定期
予防接種として無料で接種できます
が、4月からは有料となります。

○麻しん風しん混合（MR）予防接種

第2期：保育所（園）年長児

（H17.4.2～H18.4.1生まれ）

第4期：高校3年生の年齢の人

（H5.4.2～H6.4.1生まれ）

○二種混合（破傷風・ジフテリア）予 防接種

第2期：小学校6年生

（H11.4.2～H12.4.1生まれ）

※予診票を紛失した場合や接種可能
な医療機関が分からない場合は、健康
福祉課（☎ 72-2504）までご連絡く
ださい。

インフルエンザ予防接種助成金 交付申請について（お知らせ）

次に該当する人は、平成24年3月
末日までに役場窓口（健康福祉課、能
都・柳田サービス室、鶴川・小木支所、
高倉出張所）に申請をすると、インフ
ルエンザ予防接種にかかった費用の一
部が助成されます。

〈対象〉

65歳以上または満1歳～高校3年
生の年齢で全額を払った人

〈持ち物〉

インフルエンザ予防接種の領収書、
印鑑、振込先のわかるもの、接種済証
や母子手帳など接種したことがわかる
もの

任意予防接種助成事業について 【重要なお知らせ】

●子宮頸がん予防ワクチン接種 について

平成24年度も対象を拡大し助成し
ますので、接種を希望する人はぜひこ
の機会をご利用ください。

〈対象〉

①小学校6年生～中学校3年生の年齢
の女子

②平成24年3月末日までに子宮頸
がん予防ワクチンを1回以上接種し
た平成24年度高校1年生（H8.4.2～
H9.4.1生まれ）の年齢の女子

能登北部医師会 休日当番医(3月) 【受付 9:00～12:00】 都合により当番医が変更になる場合がありますので、
あらかじめ電話してから受診してください。

4日(日)	11日(日)	18日(日)	20日(火)	25日(日)
尾張内科クリニック ☎ 0768-52-1515 穴水町此木	輪島診療所 ☎ 0768-23-8686 輪島市堀町	北川内科クリニック ☎ 0768-52-3555 穴水町大町	嘉門内科クリニック ☎ 0768-22-6776 輪島市杉平町	定楯医院 ☎ 0768-45-1351 輪島市門前町
小木診療所 ☎ 74-0100 能登町小木	なかたに医院 ☎ 82-8333 珠州市上戸町	千間内科クリニック ☎ 62-1001 能登町宇出津	持木メディカルクリニック ☎ 62-1210 能登町宇出津	みちした内科クリニック ☎ 82-0877 珠州市飯田町

き

ど

2/14

せ

ま

～

こ

の

1/15

個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があったものを掲載しています。

うぶづえ

・・・・すこやかにすくすくと
出生児 両親の名前 住所

中ひより 剛史・知恵 崎山
坂尻優成 倫昭・夕起子 布浦
和田穂乃花 達矢・千穂 宇出津
井上菜花 正浩・紀美代 鶴川
川政史郎 倫明・由美 鶴川
坂元悠真 周・絵美 白山市
敷戸千尋 司・美紀 宇出津
谷内皇太 大亮・真弓 宇出津
久田紘也 悠貴・緑 宇出津
豊田倅士 伸広・かおり 小木
坂口慧春 翔太・舞 四方山
堂前一颯 純也・博美 姫

高砂や

・・・・いつまでもお幸せに

氏名 本籍 住所
大西照男 輪島市 鴨川
番場香織 鴨川 鴨川
大高浩之 瑞穂 瑞穂
福島希望 宇出津 瑞穂

おくやみ

・・・・ご冥福をお祈りします

氏名 年齢 住所
勝尾敏子 74歳 小
道下富子 74歳 小
西田このゑ 84歳 山
濱野孝則 65歳 恋
馬場ちよ子 88歳 鶴
千司一正 76歳 松
石岡一郎 80歳 小
萬谷吉助 85歳 笹
藤谷和子 84歳 上
上野貞子 77歳 瑞
寺谷智栄美 49歳 当
古谷一美 54歳 鴨
房田ヨキ 86歳 当
山岸長松 80歳 上
岩崎婦美枝 73歳 小
脊戸乙松 84歳 姫
大嶋健次 57歳 久
高野利秀 61歳 曾
高田松雄 86歳 宇
日下さと 102歳 宇
白藤和夫 64歳 藤
数 千代子 92歳 恋
寺下あやの 83歳 宇
滝元徳松 81歳 中
中山定男 88歳 小
夢知きく 92歳 鶴
石糸みつゐ 91歳 布

寄付御礼

道下昌三さん(国重) 10万円
上野アサ子さん(鶴町) 5万円
新出吉弘さん(不動寺) 10万円
藤谷雅春さん(上長尾) 10万円
数 秀次さん(恋路) 10万円
脊戸宏之さん(内灘町) 10万円
高田勝弘さん(宇出津) 10万円
高野山金剛流御詠歌 長福寺、
平等寺、法華寺、本両寺 5万円
大乘寺寒修行講中 3万円
妙栄寺寒修行講中 1万円
老人クラブ新村万寿会
座布団10枚、冷蔵庫
以上、能登町社会福祉協議会へ

編集後記

ある日の夕方、車のライトに驚いたウエンディのリードが外れ、間一髪で事故を免れたという大柳さん。それ以降、自分とウエンディに必ず反射材を付けるようになったそうだ。

「反射材着用の町」を宣言し、県内トップの着用率を誇ると言っても、まだまだ付けていない歩行者は多い。ここまできたら目指すは「反射材着用率日本一の町」。まずは自分、次に家族、そして友人知人へと、反射材着用の輪を広げよう。能登町を交通事故の被害者も加害者も出さない町にしよう。

●人口・世帯数 平成24年2月1日現在(前月比)

人口(人)	20,481	－ 20
男	9,643	－ 7
女	10,838	－ 13
世帯数(戸)	7,986	－ 4

外国人登録者(人)

男	142
女	61

げんき農園のげんきパン

大地の恵み七福神の水を仕込みから使っています。

七福神の水

セットメニューは2週間毎に変わります。
食パン1袋と菓子パン5個(3種類) ※定期購入も随時受付中

国産小麦100%使用の「体に優しい健康パン」をモットーに野菜を使ったパンの開発と添加物等を使わない安全・安心なパンのお届けに取り組んでいます。

月曜日から金曜日まで店頭でも販売

午前中に焼上がったパンは午後配速便でご自宅までお届け致します。

好評!営業中!!

カラオケ & コーヒー

要予約・送迎もいたします。

自立支援センタ・みずほ 能登町宇瑞穂119-2 TEL 67-2226

能登空港航空運賃助成制度が助成金から共通商品券(商工会発行)に変わります。

能登町は能登空港の利用促進を図るため、能登空港発着便を往復で利用された皆さんに航空運賃の助成をしています。平成24年4月1日以降の申請から、これまでの助成金から商工会発行の共通商品券に変更となります。

対象となる人・商品券交付額・申請手続きなどは下記のとおりです。

また、「在宅長寿祝金」と「すこやか赤ちゃん祝い金」も4月から商品券に変わります。

対象となる人	能登町に住所を有する人で、能登空港発着便を往復で利用した人
商品券交付額	大人(満12歳以上) 【個人】3,000円 【団体】4,000円 小人(満3歳以上12歳未満) 【個人】2,000円 【団体】2,000円 ※団体は5人以上で搭乗日、搭乗便が同じであること
申請手続き	〈必要なもの〉 ・申請書兼請求書 ・印鑑 ・搭乗券(ピンク色の券)または団体搭乗証明書 ・対象者氏名および町内共通商品券受領委任一覧表 ※申請者と住所・生計を一にする親族以外の人は添付してください。
申請期限	復路搭乗日から2カ月以内
交付方法	申請窓口で即時交付します。(受領印が必要です)
提出先	能都・柳田・内浦各サービス室、鶴川支所、小木支所、高倉出張所

☎ 役場企画財政課 ☎ 62-8503

能登空港へ行こう！ ～3月のイベント～

☆4日㊥ おらが故郷お国自慢
バンド「フェリーチェ」 ミニコンサート
〈時間〉14:30～ 〈場所〉能登空港2階ロビー
〈協力〉輪島市

☆4日㊥ お茶会～花とお茶でおもてなし～
〈時間〉10:00～16:00
〈場所〉能登の旅情報センター(空港1階)
〈協力〉淡交会

☆11日㊥ のっぴーグラスづくり
3月のデザイン “のっぴーひな祭り”
〈時間〉10:00～12:00、13:00～15:00
〈場所〉能登の旅情報センター(空港1階)
〈対象〉幼児から小学生以下優先【限定50人】
〈参加費〉無料

☆18日㊥ おらが故郷お国自慢
民謡・ヨサコイオリジナル演奏「杉山会&ピーク」
〈時間〉14:30～ 〈場所〉能登空港2Fロビー
〈協力〉能登町
☎ 能登空港賑わい創出実行委員会 ☎ 0768-26-2303

胃腸薬

胃腸薬は色々試したけれどどうもすっきりしないという方

120包入 6,300円(税込) 40包入 2,415円(税込)

くすりの中谷 宇出津新町ポスト前 TEL.62-0057

2011年生活応援! 無担保 教育ローン

キャンペーン実施中!

2011年10月1日～2012年4月30日

特別金利(変動金利) 年 1.90%

※上記金利は2011年10月1日現在適用中。 ※別途、保証料年0.5%が必要です。

●ご融資額 最高1,000万円 ●ご返済期間 最長15年

●ご返済方法 毎月返済又は毎月返済・ボーナス返済の併用

北陸ろうきん 珠洲支店 ☎ 0768-82-6111

27

26

霧島山系の麓に 姉妹都市

野尻町（宮崎県）と能都町が
長年育んできた「絆」は
小林市と能登町に受け継がれます。

【写真】韓国岳から望む新燃岳と天孫降臨の舞台「高千穂峰」
（平成19年12月16日撮影Ⅱ小林市提供）



Special Report

宮崎県 小林市

畜産のまち・小林市

宮崎県南西部、霧島連山の麓に位置する小林市は、平成18年に須木村と、22年に野尻町と合併した畜産のまち。中でも肉用牛の評価は高く、19年の全国和牛能力共進会で日本一に輝いた宮崎牛の代表28頭のうち、7頭が小林市の牛だったという。

一昨年に宮崎県で発生した口蹄疫では、昼夜を問わない懸命の防疫活動を実施。小林市からの発生を防ぎ、全国に誇るブランドを守った。

23年1月には霧島連山の一つ「新燃岳」が噴火。家が揺れるほどの大きな爆発音、吹き上が

るマグマと噴煙の恐怖、降り注ぐ火山灰や落石などの甚大な被害を乗り越えてきた。

能登町との縁は平成7年、旧野尻町と旧能都町の姉妹都市締結から続く。お互いに合併を経て、姉妹都市関係は新小林市と能登町に受け継がれた。

口蹄疫と新燃岳が収束した昨年7月、肥後正弘小林市長が初めて能登町を訪問。持木一茂町長と姉妹都市関係の確認や今後の交流について意見を交わした。「南九州の山のまち」と「能登半島の海のまち」は、共に歩む新たな一歩を踏み出した。

【DATA】Kobayashi City

面積：563.09 km²
人口：47,899人
（平成24年2月1日現在）
市の木：モミ
市の花：コスモス
市の虫：ホタル
市の鳥：アオバト



広報担当者が語る小林市の魅力



小林市広報担当
さがふじとしのり
下り藤利教さん

おいしい食材と四季折々の美しい景色が小林市にはあります。私のおすすめは果物。春から秋にかけて甘くておいしい果実を楽しむことができます。ブランド化されたメロンやマンゴーはもちろん、梨やぶどうを自分で収穫し食べることができる観光農園もあります。そして、それらを作る小林市民の朗らかな人柄も私のお気に入りであり小林市の魅力だと思います。

小林市は南九州に位置し、かつては薩摩藩の領地でした。その影響もあり、使う方言は薩摩弁に近く、明るくて朗らかな人々が暮らしています。晩酌に焼酎は欠かせません。小林市内には百年の歴史を持つ焼酎メーカーがあり、一流の杜氏によってさまざまな商品が生み出されています。ぜひ、皆さんと小林市のおいしい焼酎を酌み交わしながら、交流を深めたいですね。



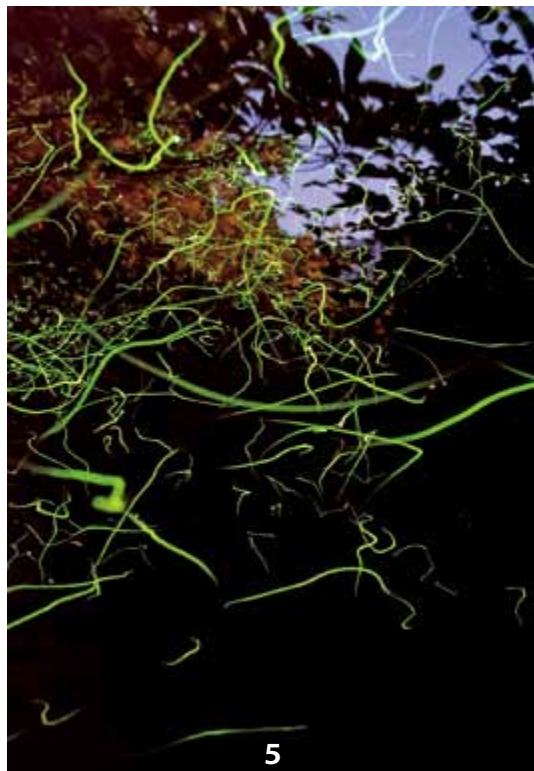
小林市広報担当
鶴田健介さん



4



1



5



2



3

1_自然落下したものをネットで収穫するマンゴー。2_宮崎県内一の生産量を誇るアールスメロン。3_厳しい品質基準で知られる宮崎牛の中でも特に品質の高さに定評のある「西諸牛」。4_春は菜の花やカリフォルニアポピー、秋には100万本のコスモスが咲き乱れる生駒高原。5_出の山公園ではゲンジボタルが幻想的な乱舞。

平成23年1月、189年ぶりにマグマ噴火した新燃岳。麓の小林市にも火山灰や落石など甚大な被害が発生した。

小林市と能登町で新たに姉妹都市協定を締結し、交流を深めていきたい。

今回、持木町長と久田議長に小林市に来ていただきまして、ありがとうございました。

これまで旧野尻町と旧能都町との間で姉妹都市協定を締結していましたが、お互いが合併して小林市と能登町になりました。今後は、小林市と能登町で新たに姉妹都市協定を締結させていただき、交流を深めていきたいと考えています。

旧須木村、旧野尻町と合併した小林市は人口約4万8千人。全国的にも有名な宮崎牛の生産のほか、養豚や養鶏など畜産業が盛んで、マンゴー、アールスメロン、クリ、ぶどう、梨など果樹の生産も多い自然豊かな農村都市です。

一昨年の口蹄疫問題や昨年の新燃岳噴火など、数々の困難に直面しながらも、市の理念であります「人々の知恵と融和で築くまちづくり」を目標に、市民の皆さんと行政が力を合わせて困難を乗り越えてきました。

小林市には海がありません。海の恵みが豊かな能登町と山の恵みが豊かな小林市との間で、姉妹都市交流ができることをうれしく、楽しみに思っています。今後は、お互いのまちの文化や産業の交流、情報の交換などを通して両市町がさらに発展していければと願っています。

能登町の皆さま、今後ともよろしく願いいたします。



肥後 正弘 小林市長

Higo Masahiro (66)

能都町・能登町との姉妹都市交流を通じて多くのことを学ばせてもらった。

野尻町は、平成7年10月4日に能都町の町制施行40周年事業の一環として姉妹都市協定を締結しました。

当時、野尻町が宮崎県町村会に①日本海側②雪が降る北国③人口規模が同じ④漁業が盛んな町—という条件で姉妹都市締結先を探してもらったところ、石川県町村会から能都町を紹介いただきました。過疎対策と地域づくりという共通点もあり、まさに野尻町が姉妹都市として願っていた町でした。

姉妹都市締結後は中学生の派遣交流、能都町のしかたの風や野尻町のメロンフェアなどにお互いの特産品を出品するなどの交流を行ってきました。平成8年には能都町が毎年東京で行っていた物産展に参加させていただき、野尻町産メロンの全国的知名度が上がるきっかけになりました。

能登町となってからも、持木町長から姉妹都市関係を発展させていきたいという言葉をいただきました。合併で関係が途切れると思っていたのでうれしかったです。

能登町の皆さんには、この17年間大変お世話になり、たくさんのお話を学ばせていただきました。本当にありがとうございました。野尻町は平成22年3月23日に小林市と合併しました。肥後市長も市議会も姉妹都市交流に対して前向きに考えてくれていますので、今後ともお付き合いをお願いします。



長瀬 道大 野尻町区長

Nagase Michihiro (63)

野尻町職員を経て平成7年2月から野尻町長に。合併後は小林市の地域自治区「野尻町」区長に就任。



【写真上】今後の交流を確認した、左から溝口市議会議長、肥後市長、持木町長、久田町議会議長（2月9日、小林市役所で）



【写真左】姉妹都市交流の内容について小林市側から提案と説明を受け、意見が交わされた（10日）

Special Report 小林市

両首長、議会議長が会談

昨年7月、肥後正弘小林市長の能登町訪問から新たに動き出した小林市との交流。2月9日から10日にかけて、持木一茂町長と久田良平議長が小林市を訪れ、今後の姉妹都市交流について話し合った。

能登空港（11時40分発）から羽田空港経由で小林市に向かった持木町長と久田議長は、午後4時30分に小林市役所に到着。肥後市長、溝口誠二市議会議長のほか、西川和孝副市長、蔵本茂弘副議長らの出迎えを受けた。肥後市長は、自然豊かで畜産と果樹生産の盛んな小林市の紹介を交えながら「今後は姉妹都市交流を重ねて両市町がますます発展することを祈念します」とあいさつ。これを受けて持木町長は「この季節に訪れると改めて気候風土の違いを感じま

す。これまで野尻町と交流してきた17年間を受け継ぎ、小林市との交流も深めていきたい」と話した。

姉妹都市交流を協議

翌10日は、小林市役所で今後の姉妹都市交流の内容や姉妹都市締結調印式について協議。小林市側から「小林市と能登町で新たに姉妹都市締結の調印を行いたい」という提案を受けて、今後両市町で調整していくことを確認した。

また、これまで実施されてきた野尻町との交流を確認しながら、中学生派遣交流事業の継続や行政、産業、市民レベルでの交流の可能性について意見を交換した。野尻町との間で紡がれた糸を受け継いだ小林市と能登町。今後さまざまな分野で交流を進め、その「絆」をさらに太くする。